

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	エコ・ミュージアム推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 東海大学、地域住民等】		
	目的・目標		事業の概要
地域市民の手により自然環境、歴史、文化遺産を保存、再生、修復、保護し、展示や伝承することで、地域の風土を守り、育てる意識が高まり、地域市民が地域に誇りをもち、地域全体が活性化し、住みやすいコミュニティが形成されています。		金目地区の自然環境、歴史、文化遺産を再認識し、保存・展示・活用するため、「エコミュージアム金目まるごと博物館」が策定した事業計画の実現に向けた取組みを推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	推進委員会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	12	12	11		
	実績	12	11	10		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	エコ・ミュージアム事業参加者数(平成27年度から)			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標			1,000		
	実績			1,119		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
桜まつり、灯ろう流し、収穫祭、秋山博資料展や、情報発信として『金目エコだより』を継続発行し、事業普及を図りました。また、地元ガイドボランティアの会での「金目の魅力再発見ツアー」や自然観察会、ホテル観察会、竹の子まつりなど、金目地区の自然環境、歴史、文化を活用したイベントや、東海大学の博物館学実習での現地説明等を開催しました。また、新規に「金目検定」の策定や、説明板の設置を行うなど、金目の魅力の発信に努めました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	歴史、文化等に関する資源の特性を活かした、地域単位で実施する「エコミュージアムによる協働のまちづくり」であり、市、地域住民ともに取り組むべき価値の高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域住民が、金目地域に誇りと愛着をもち、その魅力を広域的に発信する活動を通じて、新たな地域間コミュニティの形成や観光、経済に対する効果が期待されるほか住みやすいまちづくりにもつながり有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	文化遺産や花畑等の土地所有者やボランティア組織を活用した文化遺産の管理や街並みの整備、花畑の維持管理等を進める等、今後の事業展開に基づき、様々な可能性を含めて検討します。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	運営手法やコスト削減の面などにおいて、まだ検討の余地が残っています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 地元の特徴を生かした新たな事業の展開を図るなどの更なる企画が必要です。また、事業の財政的な自立化を模索していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		歴史・文化遺産等の地域資源活用への取組みや活動への支援	歴史・文化遺産等の地域資源活用への取組みや活動への支援	歴史・文化遺産等の地域資源活用のための活動の推進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	562	500	500
事業費 (A)		562	500	500
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 各計画事業の充実を図ることで、各事業参加人数の増加を図っていきます。事業のPR活動などをおとして、更に地域住民の幅広い参画を求めていきます。また、財政面を含めた、金目まるごと博物館委員会活動のあり方を検討していきます。
課長コメント 地域の歴史や文化、自然などを掘り起こすことにより地域の活性化とコミュニティの形成が図られることから、継続して支援し、更なる充実を目指します。